

関西地域学術手話通訳研究事業 協力者(手話通訳者)募集要項(抜粋)

国立民族学博物館では、平成26～27年度の事業として、関西地域における学術手話通訳のレベルアップを目的とする「関西地域学術手話通訳研究事業」を実施します。学術手話通訳技術の習得に意欲的な手話通訳者にご参加いただき、①チームとして力を伸ばしてゆくためのカリキュラムを自主的に計画する(通訳者側)、②その内容へのアドバイスおよび実現のための支援をする(事業主催者側)ことで、関心のある通訳者と事業主催者とが協力して、関西地域におけるよりよい情報保障環境を築いてゆくことを趣旨としています。またそのために、国立民族学博物館における国際シンポジウム等の事業を有効に活用することを前提としています。

学術手話通訳に特化した内容となるため、必要な技術と経験をお持ちの方々に広くご協力をお願いいたしたく、下記の通り、候補者の選考を実施いたします。

多くの方のご応募をお待ちしております。

1. 事業概要

- ・ 実施期間は、平成26年6月～平成28年3月
- ・ 国立民族学博物館の国際シンポジウムにおける通訳(平成26年度は10月3～6日(打合せおよび反省会を含む))を含む、年6～8回程度のミーティングを想定。具体的な日程および内容については、通訳者側メンバー確定後に協議。主として週末および祝日。
- ・ ミーティングは、原則として国立民族学博物館とし、参加のための交通費を支給。
- ・ 国立民族学博物館関連の事業における通訳業務においては、旅費を支給。
- ・ チームを対象とする専門の講師等による研修や講義等の希望がある場合には、内容を精査の上、事業側より支援可能。

2. 対象

- ① 関西地域在住の手話通訳士資格を有する者のうち、学術通訳分野への関心を有する方。
- ② 国立民族学博物館における手話言語学関連の公開事業における手話通訳を担当できる方。なおこれには、当日の映像収録およびインターネット配信を含みます。

3. 応募方法

下記①②③を添付の上、国立民族学博物館菊澤研究室(minpaku.shuwa@minpaku.ac.jp)までメールで応募のこと。(メール送信後、2、3日たっても受領確認メールが届かない場合には、確認すること。)

- ① 申込書兼履歴書(様式をここからダウンロードしてください)
- ② 手話通訳士登録証または合格通知の写し(写真もしくはスキャンデータでの添付可)

4. 選考までの流れ

(選考に関する連絡はすべてメールで行います。期日までに連絡がない場合には、必ず確認してください。)

平成26年4月20日(日曜日) 応募締切(必着)



平成26年4月下旬

選考時間・場所に関する詳細通知

↓
平成 26 年 5 月 9 日(金曜日) 講演内容に関する事前資料送付
↓
平成 26 年 5 月 24 日(土曜日) 選考(時間等の詳細については、締切後に個別に連絡)
会場: 国立民族学博物館
(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)
内容: 研究会における講演の模擬通訳
(日本手話→日本語、日本語→日本手話の同時通訳、
講師との事前打合せを含む)
※ 会場までの旅費については自己負担をお願いします。
※ 当日の評価は運営メンバーが依頼した外部評価者が担当
します。
↓
平成 26 年 5 月末まで 結果通知
↓
平成 26 年 6 月 29 日(日曜日) 第一回ミーティング

5. 本事業運営メンバー

菊澤律子 国立民族学博物館

飯泉菜穂子 学校法人大東学園世田谷福祉専門学校手話通訳学科

磯田恭子 国立大学法人筑波技術大学

6. 応募先・問い合わせ先

国立民族学博物館菊澤研究室

minpaku.shuwa@minpaku.ac.jp

関連事業:

国立民族学博物館日本財団助成事業「手話言語学に関する講義の実施およびシンポジウム・セミナーの開催」

国立民族学博物館機関研究プロジェクト「手話言語と音声言語の比較に基づく新しい言語観の創生」

人間文化研究機構連携研究「第三回手話言語と音声言語に関する国際シンポジウム「言語の記述・記録・保存と
通言語種類型論」の開催」

総合研究大学院大学学融合研究事業戦略的共同研究 I 「手話言語学を世界へつなぐーメディア発信と
e-learning 開発に向けてー」